




## 安全上のご注意



：本項目は安全確保のために、必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。  
この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のポータブルオーディオ機器全般についての内容も記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)


### 絵表示について


この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。


その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例


記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。


記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。


お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。  
この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。  
●お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害  
●録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害


## 警告


 **ACアダプターは交流100ボルトの電圧で使用**  
この機器のACアダプターは、交流100ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。


## 警告


 布や布団などでおおったりつつんだりしない  
ACアダプターは、風通しの悪いところで使用すると内部に熱がこもり、火災の原因となります。


 **指定のACアダプターを使う**  
指定以外のACアダプターを使用して充電すると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となります。


 **ACアダプターのプラグを定期的に清掃する**  
ACアダプターのプラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。ACアダプターをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。


 **充電端子や電池端子をショート（短絡）させない**  
充電端子や電池端子を金属などでショート（短絡）させないでください。  
火災、感電、故障の原因となります。


 **機器の内部に水や異物を入れない**  
機器の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となります。


 **異常が起きた場合はACアダプターをコンセントから抜く**  
内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜き、電池を取り出す。  
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

 **ACアダプターや機器のケースを開けたり改造したりしない**  
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。


 **風呂、シャワー室では使用しない**  
風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。


 **乾電池は充電しない**  
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。


 **電池は乳幼児の手の届かないところに置く**  
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。  
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。


 **落としたらACアダプターを抜き電池を取り出す**  
ACアダプターや機器を落したり、カバーやケースがこわれたりした場合は、機器の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜き、電池を取り出して、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。


## 注意


 雷が鳴り始めたらACアダプターには触れない  
感電の原因となります。


 **運転中はヘッドホンを使用しない**  
自転車に乗りながら、または自動車・オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しない。また、歩行中にこの機器を使用する場合、特に踏切や交差点などでは周囲の交通に十分注意してください。  
交通事故の原因となります。


 **ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない**  
感電の原因となります。

 **ACアダプターはコンセントに根元まで確実に差し込む**  
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となることがあります。また、ACアダプターのプラグの刃に触れると、感電の原因となることがあります。  
ACアダプターを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。

 **ACアダプターを熱器具に近づけない**  
ACアダプターを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。  
火災・感電の原因となることがあります。


 **長期間使用しないときはACアダプターを抜き電池を取り出す**  
旅行などで長期間使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜き、電池を取り出しておく。  
火災の原因となることがあります。


 **不安定な場所に置かない**  
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。  
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。


 **電池の取り扱いに注意する**  
次のことを、必ず守ってください。


- 極性表示（プラス“+”とマイナス“-”の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 充電電池と乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてたりしない。
- 電池および外部乾電池ケースは、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しない。
- 充電電池に貼ってあるビニールカバーを、はがさない。
- 常時ACアダプターで使用するときは、電池を取り出しておく。


## 注意


 電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがやけどの原因となることがあります。液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。


 **湿気やほこりの多い場所に置かない**  
油煙や湯気のアたる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。


 **温度の高い場所に置かない**  
窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。


 **ひび割れディスクは使わない**  
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。  
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。


 **レーザー光源をのぞき込まない**  
レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。


 **ディスク挿入口に手を入れない**  
手がはさまれて、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

 **機器の接続は取扱説明書に従う**  
関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。  
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

 **はじめから音量を上げすぎない**  
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

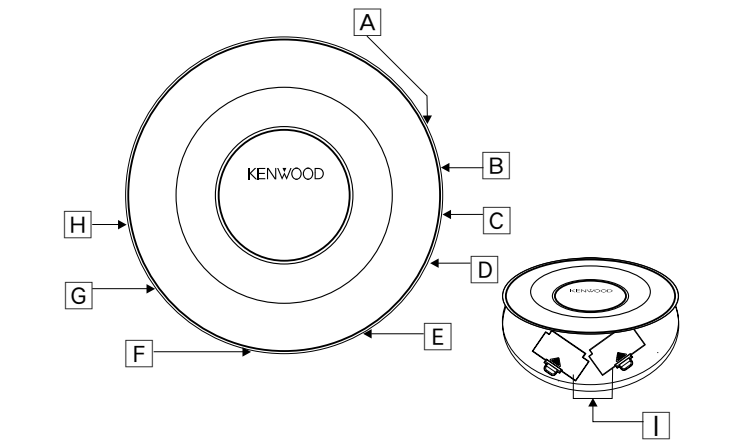
 **耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない**  
聴力に悪い影響を与えることがあります。

 **お手入れの際はACアダプターを抜く**  
お手入れの際は、ACアダプターをコンセントから抜き、電池を取り出す。  
感電の原因となることがあります。

 **定期的に内部の点検、清掃をする**  
3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口にて費用を含めご相談ください。  
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

## 各部のなまえ

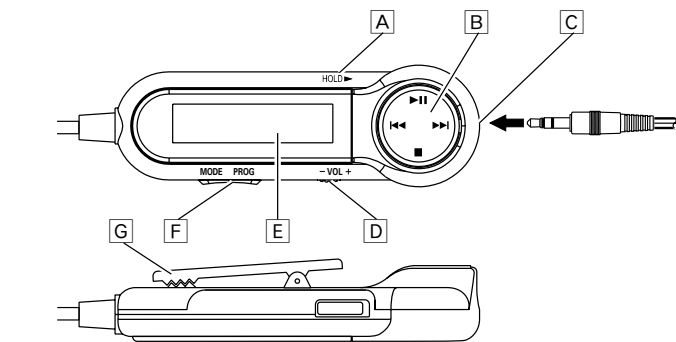
### 本体部



- A ホン **PHONE** (ヘッドホン/リモコン) 接続端子
- B ラインアウト **LINE OUT** (外部出力) 端子
- C ボリューム **VOL** (音量) つまみ
- D **DBBS** スイッチ
- E **■** (停止/オフ) キー、**▶||** (再生/一時停止) キー
- F オープン **OPEN** スイッチ
- G ホールド **HOLD** (ホールド機能選択) スイッチ
- H イン **DC IN 4.5V** (外部電源) 端子
- I 電池ケース

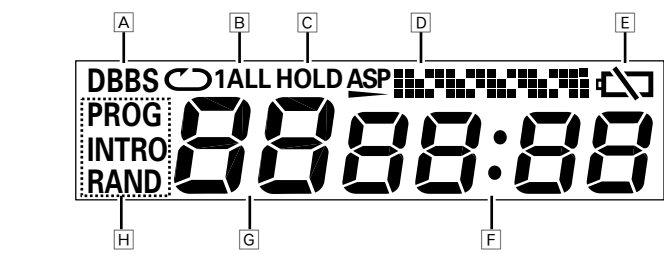
### リモコン部

本体と同じ名前のキーは、本体のキーと同じ動きをします。



- A ホールド **HOLD** (ホールド機能選択) スイッチ
- B **▶||** (再生/一時停止) キー
- C **◀◀**、**▶▶** キー
- D ボリューム **VOL** (音量) つまみ
- E 表示部
- F モード **MODE** キー / プログラム **PROG** キー
- G **■** (停止/オフ) キー
- G クリップ
- C ヘッドホン接続端子

### 表示部 (リモコン部)



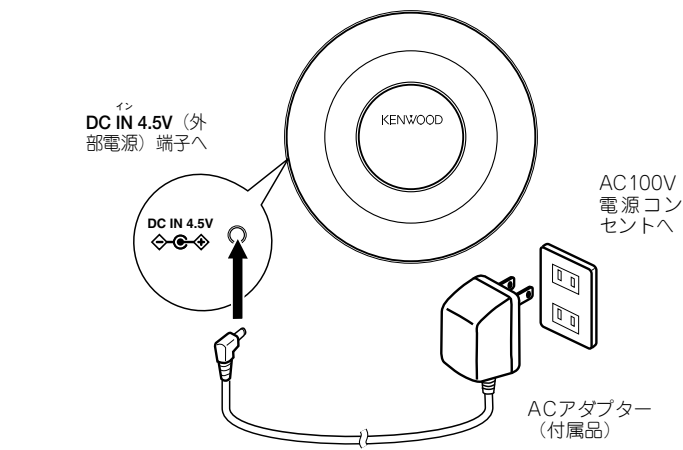
- A **DBBS** 表示
- B **1** リピートモード表示
- C **HOLD** 表示
- D **ASP** 表示
- E 電池残量表示
- F 再生時間表示
- G 曲番表示
- H **PROG** 表示、**INTRO** 表示、**RAND** 表示

## 電源について

### 家庭用電源で使うとき ①

#### ⚠注意

本機には、付属の AC アダプター「AC-45060A」(JEITA 規格・極性統一型プラグ付き) をご使用ください。



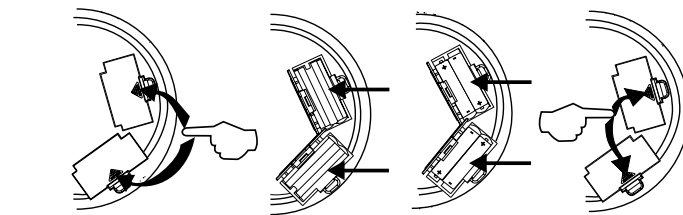
### 充電機で使うとき ②

ノート:

充電機は付属していません。充電機は必ず別売のNB-3A70をご使用ください。充電機はNB-3A70以外を使用すると、充電できない場合があります。

#### ■ 充電機の入れかた

- ① 電池カバーを開ける
- ② 充電機を2本または4本入れ、電池カバーを閉じる



- +、- の極性に注意して入れてください。
- 2本で使用する場合、電池ケースはどちらの側でも使用することができます。
- 充電中や使用中に、充電機が暖かくなることがありますが異常ではありません。

#### ■ 充電のしかた

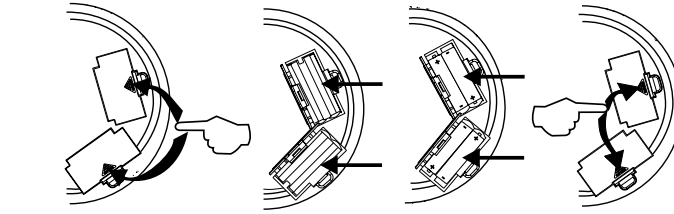
- ① ACアダプターを接続する。
- ② **■** キーを1秒以上押す。(本体のみ)
- ③ 充電が終了したら、ACアダプターを本体からはずす。

- 充電機を初めてお使いになるときや、2カ月以上使わなかったときは、使用時間が通常よりも短いことがあります。これは電池の特性によるもので、故障ではありません。完全に充電した後、本機で十分に使いきってください。この操作を数回繰り返すことによって充電機本来の性能が回復します。
- 充電するときは、本機のふたをしっかりと閉めてください。
- 充電するときは、アルカリ乾電池は電池ケースから外してください。
- 充電は約10時間で完了します。それ以上の充電は避けてください。
- 充電機は、繰り返し充電して使えます。再生できる時間が短くなったら別売の充電機NB-3A70をお求めください。

### アルカリ乾電池で使うとき ③

ノート: アルカリ乾電池は付属していません。

- ① 電池カバーを開ける
- ② アルカリ乾電池を2本または4本入れ、電池カバーを閉じる



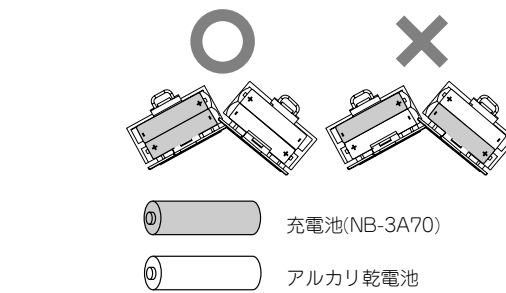
- +、- の極性に注意して入れてください。
- 2本で使用する場合、電池ケースはどちらの側でも使用することができます。
- 市販の単四型アルカリ乾電池をご使用ください。マンガン電池では正常に動作しないことがあります。
- 電池の交換は一度に2本または4本とも行ってください。

### 充電機2本とアルカリ乾電池2本を合わせて使うとき ④

#### ⚠注意

同じ電池ケースに充電機と乾電池を混ぜて使用しないこと。破裂、液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。

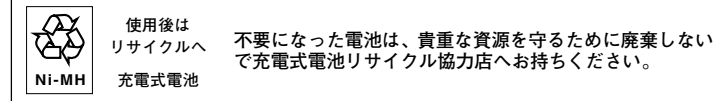
- 本機は、充電機2本とアルカリ乾電池2本を合わせて使用することもできます。
- 電池4本を使用するときは、必ず同一種類の電池を同じ電池ケースに入れてください。(下図を参照してください。)
  - 充電機は必ず別売のNB-3A70をご使用ください。
  - 同じタイプの電池は同時に交換してください。



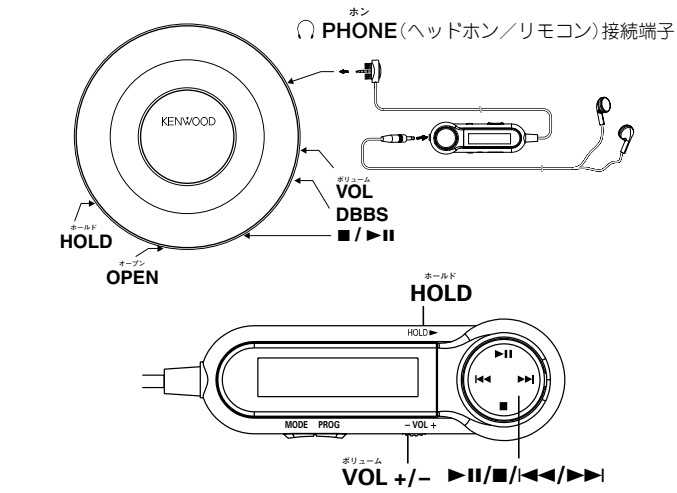
#### 電池残量表示の点滅時期について

電源の種類により電池残量表示の点滅する時期が異なります。

- **充電機**  
点滅する時期: 電池が消耗したとき。  
⇒しばらくすると自動的に電源が切れます。改めて充電してください。
- **アルカリ乾電池**  
点滅する時期: 電池が半分以上消耗したとき。  
⇒点滅している間は再生ができます。



### 一曲目から順に聴く ⑤



- ① オープン **OPEN** スイッチを矢印の方向にスライドさせて、上ぶたを手で開ける。
- ② ディスクを入れ、上ぶたを閉じる。
  - ラベル面を上にして入れます。
  - ディスクの穴の近くを押して、中心軸にカチッと入るようにセットします。
  - 上ぶたの手前部を押して、カチッと音がするまでしっかり閉めます。

- ③ ホールド **HOLD** スイッチの解除を確かめる。
  - ホールド機能を使用するときは、「ホールド機能について」を参照してください。
  - 操作をするときは、ホールド **HOLD** スイッチをオフにします。

- ④ **▶||** キーを押す。
  - 電源が入り再生がはじまります。
  - CD-R/CD-RW (CD-DA) は、ディスクの記録状態により再生が出来ない場合があります。
  - ASP 機能は常にはたらかさず。



アンチ スキップ プロテクション  
**ASP (Anti Skip Protection):**  
メモリーに信号を蓄積し、外部からの衝撃で、光ピックアップからの信号が途切れても、音楽が途切れることなく再生することができます。

- ⑤ ボリューム **VOL** つまみで音量を調整する。

- **一時停止するには**  
再生中に **▶||** キーを押す。
  - もう一度押すと再生状態に戻ります。

- **停止するには**  
再生中に **■** キーを押す。
  - 総曲数と総再生時間が表示されます。

- **電源を切るには**  
停止させてから、もう一度 **■** キーを押します。  
**オートパワーオフ機能について**  
停止状態で30秒以上操作キーを押さないと、電池の消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。

- **飛び越し選曲するには**  
**◀◀**、**▶▶** キーを軽く押すと、飛び越し選曲ができます。
  - **▶▶** キーを1回押すと、次の曲の頭から再生します。
  - 押すごとに先の曲の頭に移動します。
  - **◀◀** キーを1回押すと、今再生している曲の頭から再生します。
  - 押すごとに手前の曲の頭に移動します。

## ■ 早送り／早戻しをするには

再生中に◀◀、▶▶ キーを押し続けると、早送りまたは早戻しができます。

- 再生中に▶▶ キーを押し続けると早送りになります。
- 再生中に◀◀ キーを押し続けると早戻しになります。
- 手をはなしたところから再生します。

## ホールド機能について

- ホールド HOLDスイッチを矢印の方向にスライドさせて、ホールド HOLD機能をオンにする。
- 本体のホールド HOLDスイッチをオンにすると本体のキーの操作が禁止されます。
  - リモコンのホールド HOLDスイッチをオンにするとリモコンのキーの操作が禁止されます。

## 音質をかえて楽しむ

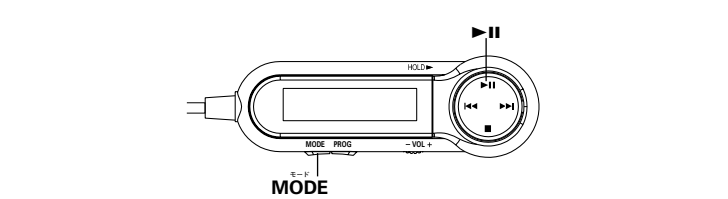
低音を強調して再生することができます。

DBBSスイッチをスライドさせて、設定を切り換えます。

- DBBS オフポジション：**  
通常の音質で再生します。
- DBBS オンポジション：**  
低音を強調します。

- 低音を強調しているときに音量を上げすぎると、曲によっては音がひずむことがあります。このときはDBBSをオフにするか、音量を下げてください。

## プレイモードを切り換える ⑥



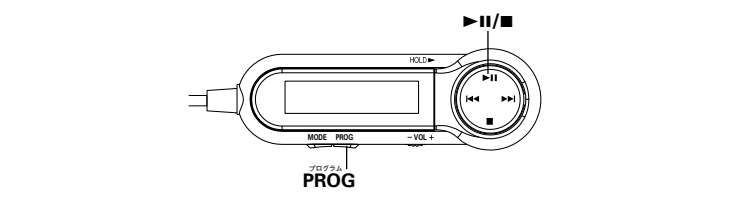
モード MODE キーを押すと、押すたびに機能が切り換わります。(再生中や停止中に操作します)

- ① **一曲リピート再生** ("◁1"点灯)  
再生中の曲または選んだ曲を繰り返し再生します。
  - ほかの曲を再生するときは、◀◀、▶▶ キーを押すと、次の曲を再生します。
- ② **全曲リピート再生** ("◁ ALL"点灯)  
ディスクの全曲を繰り返し再生します。
- ③ **イントロスキャン** ("INTRO"点灯)  
ディスクの全曲を曲のはじめから10秒間だけ1回ずつ再生します。
- ④ **ランダムプレイ** ("RAND"点灯)  
ディスクの全曲から無作為に選んで再生します。全ての曲を1回ずつ再生します。
- ⑤ **通常の再生**

- 再生中にイントロスキャンまたはランダムプレイを選んだ場合、再生中の曲が終わってからプレイモードが切り換わります。
- 停止中にイントロスキャンまたはランダムプレイを選んだ場合は、▶▶ キーを押すことにより再生がはじまります。
- プログラムの内容はリピート時またはイントロスキャン時にも有効です。

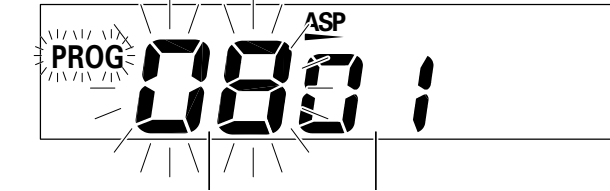
## プログラム再生 ⑦

好きな曲(最大20曲)を好きな順にプログラムして、再生することができます。



- ① 停止中にプログラム PROGキーを押す。
  - 再生中のときは、■キーを押して停止状態にする。

- ② ◀◀、▶▶キーを使って曲番を選び、プログラム PROGキーを押す。



選択中は曲番が点滅します      プログラム 番号

- 手順②を繰り返して順に曲をプログラムに入れます。
- 20曲までプログラムに登録できます。

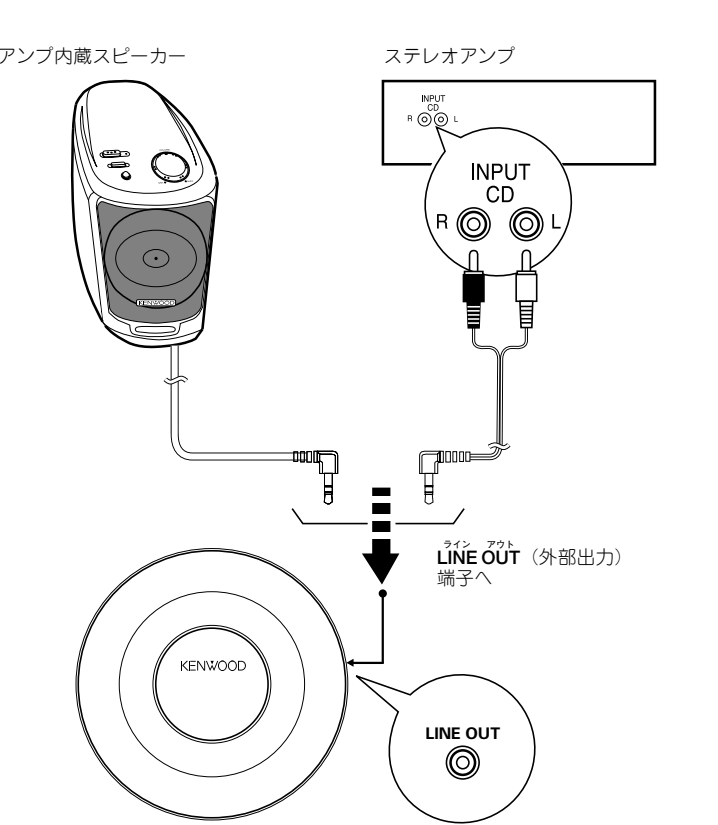
- ③ ▶▶キーを押す。

## ■ プログラムを解除する

- ■キーを押す。
- プログラムを解除すると"プログラム PROG"表示が消灯します。プログラム内容は記憶しています。
- 停止中に■キーを押すまたは、上ふたを開けても解除されます。プログラム内容はクリアされます。

## 外部の機器に接続して聴くには ⑧

コード類の接続は、接続する機器の電源をオフOFFにしてから行ってください。



ご注意

- 音量調節は、接続した機器の側で行ってください。
- DBBSの設定はオフにしてください。(音質調整は、接続した機器の側で行ってください。)

## 故障かな?と思ったら

故障と考えられる症状でも、ほかに原因があることがあります。表を参考に、もう一度確かめてみましょう。(表のような原因でサービスをご依頼になりますと、有料となる場合があります。)

- 操作キーを押しても動作しない、または電源が入らない。**
- 本体またはリモコンのホールド HOLDスイッチがオンにセットされている。
    - ⇒ホールドを解除する。
  - 電池切れ。
    - ⇒アルカリ乾電池を2本または4本とも交換する。または充電電池を充電する。
  - ディスクが裏返しになっている。
    - ⇒ラベル面を上にしてディスクを入れる。
  - 結露している。
    - ⇒約1時間待ってから使用する。
  - ACアダプターがはずれている。
    - ⇒正しく接続する。

- ヘッドホンから音が出ない。**
- ヘッドホンの接続が不完全。
    - ⇒ホンズ PHONE端子にしっかり接続する。
  - ヘッドホンがライン アウト LINE OUT端子に接続されている。
    - ⇒ホンズ PHONE端子に接続する。
  - 本体、またはリモコンでボリュームが絞られている。
    - ⇒本体、またはリモコンでボリュームを調節する。

- 音が飛ぶ、または音が途切れる。**
- 震動が激しすぎて、ASPの能力を超えている。
    - ⇒震動の少ない場所に置いてください。
  - ディスクが汚れている。
    - ⇒クリーニングしてください。
  - ヘッドホンプラグが汚れている。
    - ⇒クリーニングしてください。

- 雑音が入る。**
- ヘッドホンプラグが汚れている。
    - ⇒クリーニングしてください。
  - 電池が消耗している。
    - ⇒交換または充電してください。
  - ヘッドホンの接続が不完全。
    - ⇒ホンズ PHONE端子にしっかり接続する。
  - テレビや携帯電話など、強い磁気や電波が発生するものの近くにある。
    - ⇒テレビや携帯電話から離す。

- 充電できない。**
- 市販の充電電池を使っている。
    - ⇒専用の充電電池をご使用ください。(NB-3A70)

ご注意：

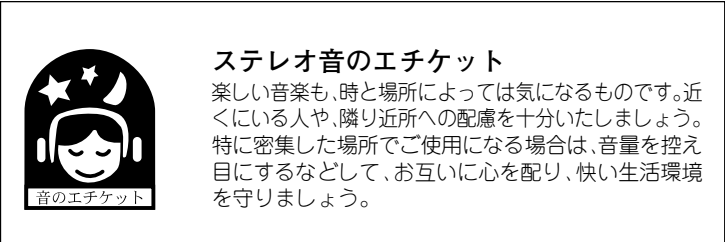
- 1.本システムはマイコンを使用していますので、外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。そのような場合、電源コードおよび電池を一度抜いてから、あらためてご使用ください。
- 2.ヘッドホンプラグを抜き差しすると誤動作することがありますが、故障ではありません。

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

**カスタマーサポートセンター：**  
電話 (045) 933-5133 FAX (045) 933-5553  
〒226-8525 横浜市緑区白山 1-16-2

**カスタマーサポートセンター大阪：**  
電話 (06) 6394-8085 FAX (06) 6394-8308  
〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22

- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。



### ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。近くにいる人や、隣り近所への配慮を十分にたしましょう。特に密集した場所でご使用になる場合は、音量を控え目にするなどして、お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。